

# 第1期王寺町総合戦略 数値目標・重要業績評価指標(KPI)の状況

基本目標	基本的方向	具体的施策	指標名	現状値	目標値	実績値	達成率	備考	
住んで満足	数値目標		① 健康寿命奈良県一を目指す【男性】 (65歳以上の平均自立期間を延伸)	H24年	12位 (17.92年)	1位 (R2年)	5位(18.99年) (H28年)	63.6%	※H28年都道府県別健康寿命順位 奈良県3位 奈良県平均18.36(全国平均17.89)
			② 健康寿命奈良県一を目指す【女性】 (65歳以上の平均自立期間を延伸)	H24年	21位 (20.29年)	1位 (R2年)	28位(20.29年) (H28年)	▲35.0%	※H28年都道府県別健康寿命順位 奈良県18位 奈良県平均20.04(全国平均20.92)
			③ 合計特殊出生率	H26年	1.26	1.50 (R2年)	1.72(速報値) (H30年)	191.7%	
			④ 人口の社会増(転入者数-転出者数)	H26年度	+122人	+622人【累積】 (H31年度)	+764人【累積】 (H30年度)	128.4%	
	(1)健やかに くらす地域 づくり	①健康寿命 奈良県一を達 成するための 生活習慣の 普及	1 1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年 以上継続して実施している人の割合(男性)	H27年度	12.4% (20~60歳)	27.0%(20~64歳) (H31年度)	16.0% (H31年度)	24.7%	(ハード面)大和川ジョギングコースの整備 葛下川遊歩道の街灯設置 健康遊具の設置(H28~)
			2 1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上2年 以上継続して実施している人の割合(女性)	H27年度	13.3% (20~60歳)	22.0%(20~64歳) (H31年度)	13.5% (H31年度)	2.3%	(ソフト面)ウォーキング実践教室(H27~) やわらぎトラスト
			3 シルバーウォーク参加者数	H27年度	254人	400人 (H31年度)	225人 (H31年度)	▲19.9%	
			4 ウォーキング実践教室参加者数	H27年度	延90人	延180人 (H31年度)	延204人 (H30年度)	126.7%	今年度、対象者を広げたため、参加者数増が見込まれる。
			5 てくてく健康チェックデー参加者数	H26年度	延121人	相談 延180人 (H31年度)	延60人 (H30年度)	▲103.4%	今年度から、健康ポイント事業と連動させて、目標達成をめざす。
			6 ファミリーウォーク参加者数	H26年度	68人	200人 (H31年度)	101人 (H30年度)	25.0%	充実した明神山山頂のコースをPRし、日程を固定化すること で、恒例行事として認知度を高める。
			7 喫煙率(20~60歳)(男性)	H27年度	28.6%	20.0%以下 (H31年度)	26.4% (H31年度)	25.6%	
			8 喫煙率(20~60歳)(女性)	H27年度	6.8%	5.0%以下 (H31年度)	7.0% (H31年度)	▲11.1%	
			9 特定健診の受診率	H26年度	36.9%	50.0% (H31年度)	41.4% (H30年度速報値)	34.4%	微増であるが受診率は増加している。今後も様々な機会に健 診受診を呼びかけていく。H30年度集計は11月に確定。
			10 特定保健指導終了率	H26年度	25.2%	50.0% (H31年度)	21.8% (H29年度)	▲13.7%	根気強く声かけし、本人の意欲を向上させ、目標達成を目指 す。H30年度集計は11月に確定。
			11 がん検診の受診率(胃)	H25年度	7.6%	21.0% (H31年度)	10.8% (H30年度速報値)	23.9%	今年度から、健康ポイント事業と連動させて、目標達成をめざ す。
			12 がん検診の受診率(肺)	H25年度	9.2%	28.0% (H31年度)	12.8% (H30年度速報値)	19.1%	
13 がん検診の受診率(大腸)	H25年度	18.0%	30.0% (H31年度)	15.5% (H30年度速報値)	▲20.8%				
14 がん検診の受診率(子宮)	H25年度	19.6%	38.0% (H31年度)	17.7% (H30年度速報値)	▲10.3%				
15 がん検診の受診率(乳)	H25年度	22.8%	33.0% (H31年度)	25.0% (H30年度速報値)	21.6%				
16 いきいき健康サロン(出前講座・健康 チェック)参加者数	H26年度	延179人	延500人 (H31年度)	延893人 (H30年度)	222.4%	土曜・日曜、夜間に関係なく、保健事業がない限り、自治会等 の希望の日程で実施している。			

目標達成
達成率50%以上

基本目標	基本的方向	具体的施策	指標名	現状値		目標値	実績値	達成率	備考	
住んで満足	(1)健やかに くらせる地域 づくり	②地域福祉 の充実	17	サロンの開催箇所数	H26年度	3箇所	20箇所 (H31年度)	13箇所 (H30年度)	58.8%	今年度新たに3団体の登録があり、目標達成できるよう引き続き各種団体に働きかけを行う。
			18	サロンの参加者数	H26年度	延2,360人	延4,300人 (H31年度)	延5,550人 (H30年度)	164.4%	更にサロン箇所数を増やし、参加者の増員を目指すと共に目標値の見直しを行う。
		③高齢者支 援の充実	19	特別養護老人ホームの誘致数	H27年度	—	1箇所 (H31年度)	1箇所 (H30年度)	100.0%	今後の施設誘致については、アンケート調査における需要などを参考に検討する。
			20	特別養護老人ホーム入所待機者数	H27年度	59人	40人以下 (H31年度)	26人(H30年度) (要介護3以上)	173.7%	町内に特養が開設し、待機者数が減少した。待機者として登録されているが、入所しない方もいる。
			21	介護サービス利用者で居宅介護サービスを受ける割合	H27年度	80.3%	84.0% (H31年度)	80.4% (H30年度)	2.7%	出前講座での啓発活動に努めることで、施設に入所するリスクがある方を極力減らしていく。
			22	65歳以上(第1号被保険者)の要支援・要介護認定者の割合	H26年度	17.6%	18.0%以下 (H31年度)	18.3% (H30年度)	0.3%超過	介護度の進行をどれだけ抑えるかが重要であり、予防やリハビリ等適切なサービスの提供が大切。
			23	認知機能の低下(疑)がある人の割合	H26年度	17.6%	15.0%以下 (H31年度)	45.3%(H29年度) ※設問に変更あり	—	今年度、日常生活圏域ニーズ調査が実施され、R2年1月頃に集計完了予定。
			24	町民向け認知症講座の受講者数	H26年度	延195人	延400人 (H31年度)	延131人 (H30年度)	▲31.2%	今年度は2回開催し、達成率の向上をめざす。
			25	認知症・介護予防出前講座の受講者数	H26年度	延448人	延1,000人 (H31年度)	延282人 (H30年度)	▲30.1%	外部講師による講座開催により実施回数を増やすことで、達成率の向上をめざす。
	26	交通機関を利用して一人で外出できる人の割合	H26年度	80.5%	83.0% (H31年度)	80.0% (H29年度)	▲20.0%	今年度、日常生活圏域ニーズ調査が実施され、R2年1月頃に集計完了予定。		
	(2)くらしやす いまちづくり	①地域性を活 かした、にぎ わいのある住 み良いまちづ くりの推進	27	畠田駅前広場の整備率	H27年度	—	100% (H31年度)	3.0% (H30年度)	3.0%	令和5年度の供用開始に向けて、用地交渉・補償調査・設計業務を現在実施中。
			28	路面性状調査結果に基づく町道の維持補修率(補修済み道路延長率)	H28.1 時点	23.4%	100% (H31年度)	37.5% (H30年度)	14.2%	H29年度より交付金の対象外となったので、必要な箇所のみ維持補修を行っている。
			29	主要幹線道路(町道)の道路照明のLED化率	H27年度	29.5%	100% (H29年度)	100.0% (H29年度)	100.0%	H29年度で目標を達成した。
			30	定住促進事業(3世代ファミリー定住支援)の利用による世帯数	H27年度	—	80世帯 (H31年度)	27世帯【累積】 (H30年度)	33.8%	下記U-40定住チャレンジ支援と合わせて、人口増加という目的はクリアしていると考えている。
			31	定住促進事業(U-40定住チャレンジ支援)の利用による世帯数	H27年度	—	40世帯 (H31年度)	180世帯【累積】 (H29年度)	450%	宅地開発、マンション建設等の外部要員により、目標を大きく上回った。
			32	空き家(空き家バンク)の利用件数	H27年度	—	20件 (H31年度)	10件 (H30年度)	50.0%	平成31年度の固定資産税納税通知書にリーフレットを封入し、目標達成をめざす。

基本目標	基本的方向	具体的施策	指標名	現状値		目標値	実績値	達成率	備考		
住んで満足	(3)安全・安心のまちづくり	①災害に強い地域づくり・強靱なまちづくりの推進	33	自主防災組織の訓練実施団体数	H26年度	10団体	52団体 (H31年度)	5団体 (H30年度)	▲11.9%	単独実施が困難な団体については、複数の団体による合同開催を提案するなど働きかける。	
			34	防災士資格者数	H26年度	55人	90人 (H30年度)	103人 (H30年度)	137.1%	自治会に対し、自主防災組織運営補助金を活用し、防災士資格を取得するよう促した。	
			35	個別計画作成サポート団体数【要支援者名簿協定締結自治会数】	H26年度	—	52団体 (H31年度)	22団体 (H30年度)	42.3%	引き続き締結未済自治会に対し、丁寧に説明していき、全自治会との協定締結をめざす。	
			36	安全安心メール登録者数	H26年度	1,697人	10,000人 (H31年度)	4,256人 (H30年度)	30.8%	H30年度に新たに導入した王寺町公式LINEとあわせて、1世帯1人の登録をめざす。	
			37	救命講習会の受講者数	H26年度	922人	1,500人 (H31年度)	486人 (H30年度)	▲75.4%	自治会等に救急救命講習の必要性周知、自主防災組織や消防団員による救命講習実施を支援。	
		②犯罪抑止及び交通事故防止対策の推進	38	刑法犯認知件数	H26年	197件	160件以下 (H29年)※再設定	142件 (H30年度)	148.6%	人の集まる王寺駅周辺は、犯罪が多くなるため、地域ぐるみでの巡回パトロールを継続的に実施。	
			39	交通事故死亡者数	H26年	1人	0人 (H31年度)	1人 (H30年度)	0.0%	H30年度に単独事故による死者が1名でた。引き続き啓発活動を実施し、目標達成につなげたい。	
			40	防犯カメラの設置台数	H26年度	15台	50台 (H31年度)	67台 (H30年度)	148.6%	町の補助制度を活用し、通学路への設置を進めるよう自治会に対し働きかけを行う。	
		③再生可能エネルギーの推進	41	再生可能エネルギー利用設備の設置箇所数(町施設)	H27年度	—	3箇所 (H31年度)	3箇所 (H30年度)	100.0%	H28年度で目標を達成した。	
			42	電気自動車の導入台数	H27年度	—	10台 (H31年度)	3台 (H30年度)	30.0%	公用車の買換えのタイミングで、電気自動車の新規導入を検討する。	
			43	電気自動車の充電器設置箇所数	H27年度	3箇所	8箇所 (H31年度)	6箇所 (H30年度)	75.0%	電気自動車の普及状況や需要を把握しながら、今後の設置を検討する。	
		(4)結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援	①結婚・子育てをみんなで支える社会づくり	44	地域子育て支援拠点(すくすく広場)の利用者数	H26年度	延13,857人	延15,500人 (H31年度)	延20,194人 (H30年度)	385.7%	今年1月より、いずみスクエアで「わくわく広場」を、毎週火曜日と水曜日に開設している。
				45	病児保育の開設数(西和医療センター)	H27年度	—	1箇所 (H31年度)	1箇所 (H31年度)	100.0%	5町(平群・三郷・斑鳩・上牧・王寺)の広域連携による「西和地域病児保育室」を、令和2年1月15日に開所予定。
				46	乳幼児健診の受診率(1歳6か月児健診)	H26年度	96.7%	限りなく100%を目指す (H31年度)	98.8% (H30年度)	63.6%	子どもの体調や家庭の事情(住民票はあるが住んでいない、海外で居住している、仕事を休めない等)により、どうしても受診につながらない場合がある。
				47	乳幼児健診の受診率(3歳6か月児健診)	H26年度	95.9%		97.4% (H30年度)	36.6%	
48	健全な発育発達の推進率(良い生活リズムを持つ1歳6か月児の割合)			H26年度	70.1%	90.0%以上 (H31年度)	93.5% (H30年度)	117.6%	生活リズムは、子どもの成長に大きな影響を及ぼすため、引き続き乳幼児健診等で指導を続ける。		
49	父親が育児に協力的である割合(1歳6か月児)			H26年度	76.9%	90.0%以上 (H31年度)	84.3% (H30年度)	56.5%	すくすく子育て支援センターの保健師により、妊娠後期に父子手帳の利用等を確認し呼びかけてきた		
50	育児不安の解消率(育児不安を持つ3歳6か月児保護者の割合)			H26年度	12.5%	5.0%以下 (H31年度)	12.1% (H30年度)	5.3%	平成31年度から産後ショートステイ・デイケア事業も始まり、さらに支援が強化されている。		
51	預かり保育(町立幼稚園)満足度			H27年度	73.8%	さらに伸ばす (H31年度)	83.3% (H29年度)	49.5%	今後、子ども・子育て会議の案件の中で議論し、事業を充実させていく。		
(5)女性の活躍促進	①女性の就労	52	25～44歳女性の就業率	H22年度	62.4%	65.0% (R2年度)	67.8% (H27年度)	207.7%	H32年調査ではまっち☆ジョブやママスクエアの誘致に伴い、さらに就業率が伸びると推測される。		
		53	女性のための就職セミナーの参加者数	H26年度	14人	30人 (H31年度)	421人 (H30年度)	2543.8%	まっち☆ジョブや県と連携した事業を展開することで、参加者数の向上を図っている。		
		54	女性のための企業合同説明会の参加者数	H27年度	—	50人 (H31年度)	52人 (H30年度)	128.6%	まっち☆ジョブや県と連携した事業を展開することで、参加者数の向上を図っている。		

基本目標	基本的方向	具体的施策	指標名	現状値		目標値	実績値	達成率	備考	
住んで満足	(6)学びの支援	①家庭・地域・学校が協働して、子どもを自立した国際人に育てていくための取組の推進	55	教科の内容がよく分かる子どもの割合(小学生・国語)	H27年度	84.8%	90.0% (H31年度)	90.8% (H31年度)	115.4%	
			56	教科の内容がよく分かる子どもの割合(小学生・算数)	H27年度	81.6%	90.0% (H31年度)	87.0% (H31年度)	64.3%	
			57	教科の内容がよく分かる子どもの割合(小学生・社会)	H27年度	—	90.0% (H31年度)	98.1% (H28年度)	109.0%	
			58	教科の内容がよく分かる子どもの割合(中学生・国語)	H27年度	77.5%	90.0% (H31年度)	79.7% (H31年度)	17.6%	
			59	教科の内容がよく分かる子どもの割合(中学生・数学)	H27年度	80.7%	90.0% (H31年度)	88.2% (H31年度)	80.6%	
			60	教科の内容がよく分かる子どもの割合(中学生・社会)	H27年度	—	90.0% (H31年度)	67.6% (H28年度)	75.1%	
			61	学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合(小学生)	H27年度	90.8%	さらに伸ばす (H31年度)	82.1% (H31年度)	8.7%減少	
			62	学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合(中学生)	H27年度	81.9%	さらに伸ばす (H31年度)	86.4% (H31年度)	4.5%上昇	
			63	不登校児童生徒数(小学生)	H27年度 (H27.12現在)	5人 (2人)	0人 (H31年度)	6人 (H30年度)	▲20.0%	小・中学校の全教職員がスクールカウンセラー等と連携し、本人や保護者への相談・指導を継続していく。
			64	不登校児童生徒数(中学生)	H27年度 (H27.12現在)	6人 (3人)	0人 (H31年度)	20人 (H30年度)	▲233.3%	
			65	今住んでいる地域の行事に参加している子どもの割合(小学生)	H27年度	87.0%	100.0% (H31年度)	79.6% (H31年度)	▲56.9%	授業等を通じて、児童生徒が王寺町の取組み・歴史、文化、自然等へ関心を深められるよう工夫が必要。
			66	今住んでいる地域の行事に参加している子どもの割合(中学生)	H27年度	48.8%	100.0% (H31年度)	78.4% (H31年度)	57.8%	
			67	家や図書館で、普段(月～金)、1日あたり30分以上読書している子どもの割合(小学生)	H27年度	44.9%	限りなく100%を目指す(H31年度)	33.4% (H31年度)	▲20.9%	図書館に図書の貸出、返却を児童生徒で運用できる雪丸ロボットを導入することで、図書館の魅力を高め、学校図書館の開館時間を増やし、司書の役割を充実させる。
			68	家や図書館で、普段(月～金)、1日あたり30分以上読書している子どもの割合(中学生)	H27年度	33.8%	50.0% (H31年度)	27.8% (H31年度)	▲37.0%	
			69	寺子屋塾(雪丸サポートスクール)の満足度(小中学生)	H27年度	71.3%	限りなく100%を目指す(H31年度)	80.4% (H30年度)	31.7%	開催曜日の変更や、授業の教室を増やすことで学習に集中しやすい環境(空調等)を整えた。
			70	寺子屋塾(雪丸サポートスクール)の満足度(保護者)	H27年度	72.3%	限りなく100%を目指す(H31年度)	99.2% (H30年度)	97.1%	
			71	「あいさつ+1」運動取組団体の登録数	H28.1現在	58団体	140団体 (H31年度)	140団体 (H30年度)	100%	H29年度から特に個人商店を中心に協力いただき、目標に達した。

基本目標	基本的方向	具体的施策	指標名	現状値		目標値	実績値	達成率	備考
働いて満足	<b>数値目標</b>		⑤ 王寺町内での新規起業件数	H27年度	—	5件【累積】 (H31年度)	15件【累積】 (H30年度)	300.0%	
	(1)王寺でのしごと創生	①就業支援・起業支援の推進	72 町内事業所の従業者数	H26年	8,252人 (速報値)	8,300人 (H31年)	民営のみ7,486人 (H28確定値)	—	R2年度にH31年度の経済センサス調査結果が公開の見込み。民営のみの従業者数はH28年に微増。
			73 空き店舗(空き家バンク)を利用したの起業件数	H27年度	—	3件 (H31年度)	2件 (H30年度)	66.7%	らーめんトライアル事業やミラクル100事業によって、町内での起業が促進された。
余暇を満足	<b>数値目標</b>		⑥ 王寺町周辺宿泊者数	H27年	延24,000人	延60,000人 (H31年)	延20,756人	▲9.0%	R2年5月に東横イン開業後は、宿泊者数は増加する見込み。
			⑦ 王寺駅(JR・近鉄)の利用者数(定期外)	H26年度	9,717人/日	11,000人/日 (H31年度)	9,525人/日 (H29年度)	▲15.0%	王寺の観光客は増加しているものの、高齢化や周辺町の人口減少など他要因の影響が多いと見られる。
			⑧ 達磨寺来訪者数	H27年	延3,571人	延5,000人 (H31年)	延10,277人 (H30年)	369.3%	H30年は、成年ツアーによる増加分が含まれている。
			⑨ スポーツ活動支援についての満足度	H25年度	33.6%	50.0% (H31年度)	32.8% (H29年度)	▲4.9%	総合計画アンケート調査結果
			⑩ 文化・芸術活動の振興及び施設の充実についての満足度	H25年度	18.8%	50.0% (H31年度)	25.0% (H29年度)	19.9%	総合計画アンケート調査結果
	(1)王寺を基点とした周遊型観光の推進	①王寺で宿泊する周遊型観光を推進	74 宿泊施設誘致数	H27年度	—	1件 (H31年度)	1件 (H30年度)	100%	R2年5月開業予定。
			75 特産品の開発支援件数	H27年度	—	4件【累積】 (H31年度)	16件【累積】 (H30年度)	400.0%	雪丸の認知度を更に高めて雪丸を機軸に飲食業者の商品開発を促す。
			76 王寺ミルクウェイ(天の川)来場者数	H27年度	16,000人	20,000人 (H31年度)	21,000人 (H30年度)	125%	町の魅力を発信するイベントとして、内容及び広報の充実を図っていく。
		②外国人観光客の誘致	77 関西国際空港からの直通バス新路線開設数	H27年度	—	1路線 (H31年度)	0路線 (H30年度)	0.0%	宿泊施設の開業を足がかりとして、交通事業者との協議を継続していく。
			78 外国語ボランティアガイドの養成人数	H27年度	—	40人 (H31年度)	5人 (H30年度)	12.5%	現在も継続して外国語ボランティアガイドの育成を進めているが、目標の達成は困難だと考えている。
		③観光資源(文化財)等の整備	79 明神山の来訪者数	H27年度	—	延45,000人 (H31年度)	66,100人 (H30年度)	146.9%	ハード面・ソフト面の整備が充実し、継続的なPR活動の結果、来訪者数が増加した。
			80 県指定文化財「達磨寺方丈」の修復	H27年度	—	完成 (H31年度)	35.0% (H30年度)	35.0%	R2年12月に修復工事完了予定。
			81 観光ウォークでのガイド対応人数	H26年度	延500人	延1,500人 (H31年度)	延4,280人 (H30年度)	378.0%	継続的なPRと観光ツアー誘致により、達磨寺の来訪者数が増加した結果、ガイド対応人数も増加した。
	82 聖徳太子ゆかりの里周遊パス利用者数		H27.11~H28.3	延1,000人 見込み	延3,200人 (H31年度)	— (H30年度)	—	奈良交通による主体的な周遊パスが発行されるよう、継続的に働きかける。	
	(2)文化やスポーツで地域の魅力を向上	①文化芸術への参加、鑑賞の機会拡大	83 自主事業開催数	H26年度	16回	19回 (H31年度)	41回 (H30年度)	833%	いずみスクエアのオープニングイベントの開催や、宝くじ助成による著名人(南こうせつ)コンサートの開催により来場者数が増えた
			84 自主事業来場者数	H26年度	延2,602人	延4,200人 (H31年度)	延6,145人 (H30年度)	221.7%	
			85 「音楽のあるまちづくり団体」への加入者数	H28.1現在	延139人	延150人 (H31年度)	延140人 (H30年度)	9.1%	ミニコンサートや体験会の回数を増やし、音楽のあるまちづくりの魅力を伝え、加入者増につなげる。
			86 県との連携事業(ムジークフェストなら)への来場者数	H26年度	延630人	延750人 (H31年度)	延2,255人 (H31年度)	1,354%	「まち歩きバル」に合わせて開催することで、イベントを盛り上げるとともに、より多くの来場につなげた。
(2)文化やスポーツで地域の魅力を向上	②地域で楽しむスポーツ、あこがれ・感動を生むスポーツの推進	87 総合型地域倶楽部「王寺やわらぎトラスト」の参加者数	H27年度	延2,588人	延3,100人 (H31年度)	延3,047人 (H30年度)	89.6%	引き続き、住民ニーズに即した多彩なスポーツを提供することで目標の達成をめざす。	
		88 町民体育大会への参加自治会数	H27年度	27自治会	32自治会 (H31年度)	24自治会 (H30年度)	▲60.0%	合同や地域連合チームを提案する、誰もが参加できる新たな種目や賑わいの場の提供。	